

企業で働く若手社員の方に、入社へのキッカケや仕事のやりがい、楽しさなどを聞きました。



## Q1 入社のキッカケを教えてください(善平さん)

アルバイト先の学童で発達障害を抱えるお子さんに関わった際に、勉強を教えることや対応の難しさを感じて、どうしたら良いかと悩んでいた時に、合同企業説明会でコロロメソッドを見つけました。会社見学で脳科学に基づいた支援を提供していることを聞き、その具体的な内容が学童のお子さんの様子にピッタリと当てはまっていたのでとても納得しました。私が知りたかったのはこれだと気づき、入社することを決めました。

## Q2 お仕事の内容を教えてください

子どもたちの体を作るトレーニングと勉強を教える学習が主な仕事です。その他には、保護者の方と面談する機会も増えてきました。

一日のスケジュールとしては、午前中は幼児さんたちとリズム体操や歩行トレーニング、学習を行い、昼食時には偏食指導を行います。午後は小学生以上のお子さんたちと運動課題や歩行トレーニング、学習を行います。

たくさんのお子さんがあるので、「その子にあったステップは何か」と考えながら働いています。また、保護者の方とは定期的に面談を行い、ご家庭での困りごとを伺ったり、教室での様子や学習の進捗状況などをお伝えして、ご家庭でも保護者が指導できるようにアドバイスをを行っています。

【※(先輩社員 翁長さんより、子どもたちが体を動かすトレーニングが多い理由をご説明いただきました)】

発達障害とは脳機能障害であり、上位脳(大脳皮質)が発達しづらいたことが原因で生じるものです。そのため、一例としては、赤ちゃんの時の足裏反射(原始反射)が消退せず残ってしまい、ずっと足



## <お話を伺った方>



**若手社員(左)**  
・善平さん  
児童指導員  
(入社4年目)

**先輩社員(右)**  
・翁長さん

## コロロメソッド 発達療育支援センター

自閉症をはじめとする発達障害の子どもたちが、いつでも・どこでも・だれとでも、健やかに、穏やかに暮らしていくために発達を促す療育を行っています。

を床につけることができないうなど多動と言われる状態になります。そこで、歩行トレーニング(一時間テンポよく歩き続ける)やリズム体操などの体を動かすトレーニング、反対に止まり続けるなど静止トレーニングも行い、自分でコントロールできる体を作っていくことが必要になります。」

## ―やりがいを教えてください―

食べられないものが食べられるようになった、手をつないで一時間歩けなかったお子さんが歩けるようになったなど、子どもたちの成長を感じるとともに、自分も子どもたちによって成長した時にやりがいを感ずります。

例えば、歩行トレーニングにおいては、手をひいて歩くということは、子どもたちの反射が出ないようにする手の引き方や、握り方、強さ、歩くスピードなど繊細な技術が要ります。お子さんが一時間歩けるようになったことは、子どもたちにとって成長であるとともに私にとっても支援技術が身についたという点で成長であり、やりがいを感ずります。

## ―大変だったことは何ですか―

最初、自分の技術が未熟な時に支援することは大変でした。私の前だと子どもたちの状態が崩れてしまうという時に、どうしたらいいんだろうとへこみました。入社一、二年目は自分の不甲斐なさに落ち込むことが多かったです。その中で続けられたのは同期の力が大きかったです。私が、「今日はこれが全然できなかった」と話をすると、同期も「自分もできなかったよ」と話してくれて、励まし合いながら進むことができました。同期の力がとても大きな支えでした。また、先輩方に分からないことを尋ねると、すぐ教えてもらえる環境であったのも大きかったと思います。

## Q3 会社の魅力をきかせてください

働いているスタッフは女性が多く、女性が活躍しやすい職場だと思います。家庭をもって子育てすること

企業で働く若手社員の方に、入社のキッカケや仕事のやりがい楽しさなどを聞きました。



になっても、みんなサポートしてくれますし、もちろん男性スタッフも育休を取れるので子育てしやすい環境だと思います。皆さん心配りやきめ細やかなケアをしてくださるので、悩みがあってもすぐ気がついてくれたり、困っていたら駆けつけてくれるので安心できます。

## Q4 今後の目標を教えてください

教室内の活動に慣れてきましたが、ご家族の方との面談や保護者の方へ療育講座をするにはまだまだ知識が足りないなので、その点をクリアにしていきたいです。

面談ではもっと具体的な解決策を提案したいと思っています。また月に一回、一時間、一時間半の保護者向けの講座があります。先月初めて20分間話しましたが、20分話すだけでとても大変でした。話す力は大切だなと改めて感じています。



## ―目標に向かって取り組んでいることはありますか

終業後にスタッフ全員で反省会・申し送りをする際、他のスタッフが保護者の方と話したことや提案内容を聞いて、自分では思いつかなかったことなどを学んで、自分の引き出しを増やしていきたいと思っています。

また発達に関する書籍を読んで知識を吸収したいです。講座に向けては、先輩スタッフのレジュメや実際の講座をみて、話の進め方などを学んで覚えていきたいと思っています。

## Q5 就活中の方にメッセージをお願いします

どんな企業がいいのか、自分は何が合うのか迷われている方もいると思いますが、たくさんの方の会社の話をして、自分が納得するところ、ここだなと感じるところを見つけてもらえたら良いと思います。周りからの評価が高いからこの企業にするというのは、ミスマッチが起きやすいと思います。実際自分で話を聞いて、会社を見学して、ここならできそうと判断すると長く働けると思います。色々な会社の話を知っていて、かつ、施設も見に行っただけで就活を進めてもらえたらなと思います。

また子どもたちの発達や子ども支援に関わりたと思っています。方は、ぜひ私たちの会社も見学に来てもらいたいですし、説明を聞いて色々感じてもらえるものがあると思うので、ぜひ会社説明会や見学に来てくれたら嬉しいです。子どもたちを伸ばしていきたいと思っています。の方に会えたら嬉しいです。

## 〈先輩社員にお話を伺いました〉 会社の魅力を教えてください（翁長さん）

この会社が一番の魅力は「職員が皆、同じ方向を向いて仕事（支援）をしている」ということだと思います。これは実は、外部から教室見学へ来られた方に実際に言われたことで、私自身、言われて初めてそれが当たり前のことではなく、自分たちの強みなのだと思えました。実際に他事業所を見学したり、お話を伺ってみると、全員で同じ目標に向かって進んでいくことの難しさや歯がゆさを感じている方は非常に多いのだと知りました。例えば、ある方が一人のお子さんへの対応について、改善したほうが良いと思うことがあっても、別の方は特に改善は必要ないと考えている場合、対応がバラバラになり、子どもたちの状態も不安定になったり、問題が改善していかないという結果になってしまいます。その点、私たちは「コロロメソッド」という脳科学に基づいた支援方法で療育を行っており、その理論や支援技術を職員全員が入社後に研修と実践を繰り返しながら学んでいきますので、子どもたちの行動の見方、対応や支援方法は統一したものになります。脳の構造や発達の順序から発語や発達を促すための支援方法などをスタッフ全員が学ぶため、自然と皆同じ考えや支援目標を持って働くことができているのだと思います。皆ゼロから学び始めるので、専門分野の異なる方でも同じようにその知識を深めていくことができるのも良いところだと思います。

また、コロロは担当制ではなく、子どもたち全員を職員全員で見るという意識を持って支援しています。そのため、チームワークが自然と生まれてくるのも強みだと思います。毎日夕方に申し送りの時間があり、子どもの細かな状態、教室での対応の仕方から、ご家庭の療育課題までみんなで共有しています。





# INTERVIEW

企業で働く若手社員の方に、入社キッカケや仕事のやりがい楽しさなどを聞きました。

優先して改善すべきケースなどについては、その場で療育プログラムや対応策が話し合われます。小さな会社なので、アットホームな雰囲気ではありますが、必要以上に近すぎずお互いにプロとして関われる距離感を保って働くことができています。技術が必要で理論研修も

福利厚生面の面では、同業種の中でも休みが多いところが魅力だと思います。コロメソッドの療育支援の仕事は、一人前になるのに10年かかると言われるほど簡単ではありません。引き締まった空気感で支援をしているので気力も必要です。人を育てる大変な仕事だからこそ、スタッフの資本であり、人材は大切です。スタッフの心身ともに健康でないと個々人の力を十分に出不せないので、土日祝の休み以外にも、夏と年末年始には長期休暇があります。スタッフの力が発揮できるように会社がしっかり考えてくれているところが魅力です。

## どのような人材が向いていますか

この仕事は児童福祉の分野ではありませんが、行っていることは教育が大半を占めていると思います。子どもの支援をしたいという思いの中でも、その子が社会参加できるように力を伸ばしたい、きちんとトレーニングしていききたいという気持ちが必要です。個性として受容し見守るのではなく、できることを増やしてあげたいという思いのある方は向いていると思います。療育とは「治療教育」です。子どもたちの困った行動を改善し、正しい行動を教えていく、できることを増やしていくためのトレーニングをしているので、教育を仕事にしたいと考えている方は面白いと感じてくださるかなと思います。受容共感の姿勢だけでなく、子どもたちが学校、就労、家族といった社会集団の中でみんなど共に暮らしていけるように、周りに合わせる力、頑張っ

て乗り越える力、自己の感情や行動をコントロールする力を伸ばしていくことが大切だと思える方と一緒に仕事をしていきたいです。

## 編集後記

取材にご協力いただきました、善平さん、翁長さん、仲村さん、コロメソッド発達療育支援センターの皆さまありがとうございました。

近年、発達障害を抱える方が増えているというニュースを耳にしたことがある方も多いと思います。しかし、発達障害を抱える方どのように接すれば良いのかということ、社会全体でまだまだ十分に認識されてはいません。

そのような中で、発達障害を抱える一人ひとりの子どもたちが、これからの社会生活を乗り越えていくために、自分で自分の力を伸ばしていく、そのための療育支援という在り方は、子どもたちの今後の可能性をより高める大きな手立てだと思われま

す。今回の取材で、支援をする側の知識や技術力、そして何よりも、子どもたちのこれからの人生のために、子どもたち一人ひとりが出来ることを増やし、成長して欲しいという強い想いを感じ、誇りと情熱が持てる仕事だと感じました。

この取材記事を読んでくださった皆さまの、仕事への興味関心がより一歩進みましたら幸いです。



Okinawaken Career Center

# 沖縄県キャリアセンター